

求められる学長像

京都府立大学は、京都府民に支えられ、地域とともに歩む「知の拠点」として130年に及ぶ歴史と伝統の中で、地域社会と国際社会の持続可能な発展に貢献できる人材を育て、世界最高水準の独創的な研究を推進し、その成果を府民生活や社会の発展に活かしてきた。また、地域に根ざし、世界に開かれた魅力的で個性ある京都府立大学の創造に向け、「理念」と「行動憲章」に基づき果敢に挑戦し続けてきた。

しかし、グローバル化や技術革新の急速な進展、少子化による人口減少など、大学を取り巻く社会環境や大学に求められる機能と役割は大きく変化しており、京都府立大学の教育研究体制は、それを支える施設環境とともに、これまでにない変革が求められている。

このような中、大学の舵取りをする学長には、これまで以上に中長期的な視点に立ち、戦略的で経営感覚を持った運営を行うことができる者として、以下の資質・能力を求めたい。

- 京都府立大学の「理念」の具現化に向けて、「行動憲章」に基づき、明確なビジョンと方策を示し、情熱を持って大学改革を推進するリーダーシップを有すること
- 大学人としての高潔な人格と学識に優れ、高等教育機関を取り巻く諸事情に通じ、強い情熱を持って、適切かつ効果的に教育・研究・社会貢献活動を運営できる能力を有すること
- 気候変動や生成AIの利活用を含むDXなどの時代の変化や、災害等学内外の不測の事態にいち早く対応するとともに、幅広い視野と先見性を備え、課題解決に向けての方策を、文理の知を結集し、スピード感を持って決定する能力を有すること
- 魅力に溢れ選ばれる大学となるため、京都府や京都府民の理解を得ることはもとより、他大学や高等学校、企業、団体等との連携強化を進め、大学の教育・研究環境の改善及び社会貢献に資する総合的な取組を推進する能力を有すること
- 学生や教職員の声に耳を傾けるなど学内コミュニケーションを円滑に保ち、対外的にも深い信頼関係を築き、発展させる能力を有すること